

初孫の笑顔に救われる



宮城 南三陸町戸倉の仮設住宅に入居した事務店経営、小山勉さん(56)。「自宅と倉庫が津波に流れ、姉と姉の息子の嫁は死亡、兄は行方不明です。残った家族4人で仮設住宅に入り、仕事を再開しました。妻(専業主婦)も4月11日、初孫渡雅(4)を産みました。」

岩手 5月末に仮設住宅への入居を予定している。避難所のみんなと離れるのは寂しい。津波はもう嫌なので山の方に移り住みたいけど、今の土地がちゃんと売れるのか心配です。

福島 南相馬市小高区蛸沢の自宅と田畑が警戒区域20キロ圏内となり、二本松市金色の二本松



親類6世帯で避難所生活を続ける佐藤良一さん(前列中央)

Q 仮設住宅の暑さ対策は？
A すだれを付けるなど、日光を直接当たらないようにしましょう

ミニ ニュース
子育てママが被災地で活動報告 東京都中央区の子育て中の女性らが集まってきたボランティア団体「ゆるい」が22日午後3時5分、同区佃2-10-9のライオンスタジアム1階コミュニティルームで活動報告会を開く。だれでも参加可能で、口コミやインターネットで子供服や紙おむつなどの物資を集めて、これまで18回、直接トラックで被災地に届けられた。現地での炊き出しも実施し、被災者や被災地の幼稚園・保育園から「今すぐ欲しいもの」を聞いて、次の活動へつながっている。

し、引き続き支援物資を募る。だれでも参加可能で、入場無料。問い合わせは090-6550-2885。

希望新聞

岩手沿岸部の被災者

心のケア必要 300人超

保健師報告 避難所で不眠深刻
大震災で被災した岩手県沿岸部は、不安や不眠などで精神的ケアが必要な被災者が少なくとも約300人いることが分かった。保健師からの報告を、県精神保健福祉センターが被災者の大きい6自治体についてまとめた。被災地全体ではさらに人数が増えるのは確実で、専門家は「継続的なケアの体制を整えるべきだ」と指摘する。

中部沿岸部から患者を受け入れている宮古山川病院(宮古市)の院長は「自殺に至る人はその前に何らかの症状があり、専門家が気づく必要がある。心のケアの拠点を設け、継続的できめ細かい対応が必要だ」と話している。

「お前は大丈夫か」「安心して」「おれも実家に戻るよ」「こっちに来て電氣も水もない」
20日ごろから男性は大船渡市内の知人宅に身を寄せた。医療チームの診察を受け、総合病院の精神科に入院するようにになり、精神安定剤を処方された。

「病院で薬もちゃんともらっている。兄は電話で聞き「なら大丈夫だろう」と思ったという。だが31日、男性は実家に戻り、練炭自殺をした。

「惨状を見ているだけでも気持ちがつかない。偶然に会った高校の同級生は男性の表情が忘れられない。リュックを背負い「家族が見つからない」とつぶやき疲れて切っていた。

震災約1週間後には携帯電話が通じ、関東地方で暮らす兄と連絡

「震災2カ月で全体として強いつつ状態は脱し、自分を鼓舞して何とかやっていく。東北人の気質か、気丈に振る舞う傾向もある。同チームのスタッフは撤退後、地元医師らに引き継ぎをするように促し、精神的ケアがない自治体もある。岩手県

岩手、宮城、福島の3県には国を通じて「心のケアチーム」(20日現在52チーム)が派遣され、同センターはチームを岩手県の市町村に振り分けている。宮古市以南の4市2町の避難所、自宅を

チームと連携する保健師らが訪ね、精神的ケアが必要な被災者を算したところ、約300人に及んだ。特に男性に注意が必要で、「家族を亡くしたうえ避難所でも他人と交流せず孤立している人がいる」と話す。自宅の被災は免れても

被災地では、家族を失ったショックや、家族を失ったショックや、兄弟による、男性は妻と2歳の長男、義理の両親と祖母の6人暮らしだった。4月5日、第2子の誕生予定日だったが、一家の幸せは3月11日の津波での

減速するのに対して、水中は速い流れが保たれる」と分析する。さらには川を逆流し、あふれた津波は、堤防から流れ落ちる過程で加速し、破壊力を増すという。

東日本大震災の津波により広範囲に浸水被害が出た仙台平野で、川を逆流する津波の速度は陸地部分の2倍を超えていたことが、千葉工業大・千葉県習志野市などの国際研究チームの分析で分かった。逆流した津波は川

千葉工大分析

川を時速23キロ 津波逆流

仙台平野 陸地の2倍の速さ



3月11日午後5時35分、本社機から撮影した津波直後の名取市沿岸部。写真下は名取川(北側から南向きに撮影)＝貝塚太一撮影

上地区で撮影された映像。逆流する津波は時速6.5キロ(同23.4キロ)の先端の速度を解析した。海岸から約2キロ、名取川から800メートルの先で逆流した。津波の速度は時速3.0キロ(時速10.8キロ)だったのに対し、名取川を

今回の震災では、海岸から離れた川沿いの集落も津波の被害を受けた。宮城県石巻市では、北上川を逆流し、津波が河口から4キロ上流の橋げたを押し流した。近くの市立大川小に運ぶ多数の児童の命を奪った。

今回の分析結果は、千葉工大で開かれた日本地球惑星科学連合大会で27日発表する。

東日本大震災で被災した地への石油輸送の一翼を担ったのは、累積赤字に悩む第三セクターの鉄道や日本海沿いの

赤字三セク鉄道「再評価」

被災後、石油輸送で活躍

非常時の「ライフライン」として再評価する声も出ている。被災地のガソリン不足が深刻化した3月中旬、JR貨物(東京都)

しかし、JR東北線の復旧のめどが立たず、新潟に迂回して、ローカル線のJR羽越、奥羽線を経て青森に向かうルートとした。JR線のない青森、盛岡間は、三セクの「青い森鉄道」「青森県とI

この三セク2社は東北新幹線の盛岡・新青森間の開通を見込んでJRから経営分離され、02年に開業。岩手県沿岸を走る三陸鉄道は震災で線路の大半が流失、全面復旧には100億円かかる可能性があり、前途多難だ。全国の三セク鉄道やローカル線では、採算割れで撤退が相次ぎ、国土交通省によると、2000年以降、33路

線(計634.6キロ)が廃線となっている。新藤栄幸・東京市政調査会研究担当常務理事(行政学)は「三セク鉄道は住民の貴重な交通手段なのに経営が厳しい。被災地には輸送できることは、公共交通とは何かを改めて考える契機になるだろう。補助金を含めて、ローカル線のあり方を再評価すべきだ」と話している。(川上晃弘)

矢口真里さん(28)と結婚した21日、2人の間に子供も誕生した。矢口真里さんは「結婚してからは、2人の子供と一緒で生活している。矢口真里さん(28)と結婚した21日、2人の間に子供も誕生した。矢口真里さんは「結婚してからは、2人の子供と一緒で生活している。矢口真里さん(28)と結婚した21日、2人の間に子供も誕生した。矢口真里さんは「結婚してからは、2人の子供と一緒で生活している。」

中国公演歓迎「震災再建に勇気」

日中韓首脳会談で来日中の中国の温家宝首相が21日夜、東京都内のホテルで、気グループ(SMAP)のメンバーと面会した。SMAPは9月に初の中国・北京公演を行う予定で、温首相は「世界に一つだけの花」を中国語で披露、日中友好をアピールした。面会で温首相は「中国に

来て公演することを心から歓迎します。公演は日本の中国への友情だけでなく、東日本大震災からの再建に勇気をもたらしてくれると思っています」と述べた。「公演で友情の種をまき、きれいな花が咲くよう心がけています」とも話した。この後、SMAPのメンバーが歌を披露した。面会後、SMAPの中居正広さんは「中国はファンの人たちがすごく多いので、ぜひコンサートをやりたいと思っていました」と話した。

SMAPは昨年6月、上海万博会場でのコンサートを開催する予定だったが、ファン殺到による会場の混乱が懸念されて中止。今回は中国公演を予定していたが、東日本大震災のため実現しなかった。(石塚厚志)

出た作品になったと話した。シンガー・ソングライター、友部正人のミニライブもあった。6月3日まで、全国各地で自主上映会も予定されている。問い合わせは同センター(045・243・9800)。

細谷医師の映画第2弾

横濱で公開 小児がんと闘う子どもと向き合い続ける聖路加国際病院副院長の細谷亮太医師(63)を追ったドキュメンタリー映画「大丈夫」。

児科医・細谷亮太の「カ」が21日、横浜市中区(毎日新聞社協)の「シネマ・シヤッ台」で公開された。伊勢真一監督が舞台あきさつに立った。作品は、細谷医師が診療時には毎回「大丈夫だよ」と声を掛け、子どもをあめを渡す姿を、医師の俳句を交えて描いている。

あきさつした伊勢監督は、やはり細谷医師を描いた前作「風のなか」より比較しながら、「前作は『死』を想起させる作りだった。今回はそれぞれ患者の『生きる』姿がにじみ

天皇、皇后陛下は21日、第82回全国植樹祭に出席するため、空路、和歌山県を訪れた。東日本大震災後、陛下が東日本各地に地方を訪問したのは初めて。植樹祭は22日に田代市で開かれ、陛下の特別機は豊霧ののために羽田空港を約2時間遅れて出発し、午後2時過ぎに白浜町の南白浜空港に着いた。また、知的障害児施設「南紀あけぼの園」を視察する予定だったが、同園でロウイリス感染者が確認されたため取りやめになった。このため陛下は先のホテルで、近畿大水産研究所関係者からクマノシロの完全養殖などについての説明を受けた。